

2020

せきれい

宝塚野鳥の会会報
Vol 112 SPRING



宝塚野鳥の会

せきれい 2020 春号

目 次

宝塚野鳥の会趣旨	川合 寛	2
宝塚野鳥の会標語	河中 三朗	
行事		
全国一斉ガンカモ・カワウ調査に参加	編 集 部	3
寄稿		
石垣島探鳥記 2019.12	持田 倫子	5
三太郎日記 19	彦根 宏道	11
フォトコーナー	山尾文明・井口信夫・持田倫子・石田俊二	15
野鳥川柳	武田 玲子	24
事務局便り		
行事予定4月～6月	片山 忠	19
活動報告1月～3月	〃	20
原稿募集	編 集 部	
定例探鳥会で見られた野鳥リスト12月～2月	〃	21
定例探鳥会案内4月～6月	〃	23
会員異動(12月～2月)	片山 忠	
探鳥会報告	編 集 部	25
裏表紙によせて	松村 基子	30
表紙画	西村 亘	
裏表紙画	松村 基子	

野鳥川柳

うぐいすの初鳴きを待つ春の朝

にわとりが人は治療でよろしいね

武田尾にヤマセミ出たよ久しぶり

昆陽池でカワウかえらぬ卵抱く

糖質とスズメのためにパン残す

武田玲子

裏表紙に寄せて

キクイタダキ

小さな鳥が好きです。

なかでも、キクイタダキは、日本最小の鳥で体長10Cm、重さは、1円玉5枚の5gだという。亜高山帯の森林樹林内で繁殖し、冬には、カラ類に交じって、平地まで下りてくるのを観るのが楽しみで、林や、松の木の枝にエナガ、シジュウカラ、メジロなどの混群が飛び、訪れるとすわーっとばかり双眼鏡を構えて色めき立つ。

なにぶん小さくて素早く、チョコチョコ動いて小さな細い声でツリリツイ・東北地方では、カネタタキとも呼ばれているらしい。

オリーブ色の小さなからだで、頭上の羽毛が黄色の小さな菊の花に見える冠を戴いているので名付けられたものか。頭上にうやうやしく戴くと表現されるなんて特別扱いだなと思ったら、英名は、Goldcrestといって金の冠毛、米名は、Golden Crowned Kinglet, 金の王冠をかぶった王子様と呼ばれるそうなんです。どこの国でもなんと高貴！！

オスは興奮すると、頭上の黄色の真ん中がオレンジ色になるそうです。見てみたいですね。

冬の陽だまりの探鳥会。こんなかわいい素敵な鳥たちに出逢えたら最高ですね。
松村基子

★キクイタダキ

スズメ目キクイタダキ科

L = 10Cm

日本で最小の鳥の一つ。留鳥または、漂鳥。雌雄同色。頭頂に2本の黒線に囲まれた黄色の線があり、あたかも菊の冠を戴いているように見えるのでこの名がある。冬はヒガラと混群を作ることが多い。

★出典

平凡社刊 日本の野鳥

590



せきれい 通刊 112 号

発行日 2020 年 4 月 1 日 (春号) (年 4 回発行)

発行所 宝塚野鳥の会事務局

〒665-0046 宝塚市福井町 26-14 片山 忠 方

編 集 せきれい編集委員会

ホームページ <http://yachou-takarazuka.life.cocan.jp/>

【無断禁転載】